

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「暮らしをつくる」を楽しむ日常の価値創出拠点整備・運営事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人生活民芸舎 090-6039-6745 (代表・佐藤あゆ)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,120,243 円 (うち支援金: 2,932,000 円)

事業内容

木曽地域での暮らしを楽しむ産業振興・移住促進拠点を
つくるものです。山に囲まれた美しい地域という信州の
文化的背景から考え、現代の生活者や移住希望者と「暮
らしをつくる」楽しみを見出すデイリーツーリズム事業
を展開し、それを実現するハード整備を行います。日常
の魅力から信州を捉え直し新たな価値創出を図ります。

1. 拠点整備事業

A 子どもと過ごせるコワーキングスペース

B 関係人口創出のためのチャレンジキッチン整備

2. 信州デイリーツーリズム事業: 木地から作る漆器講座

3. チャレンジカフェ

4. 移住定住相談会&まち歩きツアー



【移住定住相談会・街歩きツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ① ものづくりを行う作家の増加
- ② 「信州デイリーツーリズム」リピーターの増加
- ③ 遠方来訪者、利用者滞在時間増加
- ④ 移住者検討者の受け入れ基盤醸成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①コワーキングスペースは50日 open し、国内外旅行者や地域内外から35名程度の施設来訪者があった。

②チャレンジカフェキッチンは4名に活用され、県内外30名程度の利用があった。

③木地から作る漆器講座は市内外から6名の参加があった。

④移住定住相談会&まち歩きツアーでは市内外から4名の参加があった。

※自己評価【A】

【理由】

- ・産業振興、移住促進拠点整備が完了し、地域に不足する長期滞在者を受け入れる環境が整った。
- ・昨年に続きリピート開催された企画や、リピーターを得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

産業振興・移住促進拠点は、元気づくり支援金を活用し「集まる」「何度も・長く滞在する」「日常的に利用する」場所として整備されました。ワークスペースを整備し、居場所となるチャレンジキッチン設けます。

また、ソフト事業でも、年間を通して地域を訪れるプログラムを実施することで関係人口を増やし、それら人材と地域との結びつきを強化します。この施設をきっかけに移住を考える人を増やすため、移住定住相談会&まち歩きツアーを今後も定期開催していく予定です。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある